

岩戸町会だより

岩戸町会・南北
地域懇談会

岩戸町会だより

令和5年第2号
発行 岩戸町会
編集 岩戸町会広報

動を見直し考える必要がある。

【意見2・理事】「加入メリッ

トの明確化」「災害時の連携」

「地域や活動情報のデジタル配信」などの意見を班員から預かつた。

今年は、平成5年に開始以来、今回で28回目の開催となり、また、コロナの影響で、4年7ヶ月ぶりの開催となりました。

令和6年2月18日（日）町会第一会議室で行われました。

令和6年2月18日（日）町会第一会議室で行われました。

今年は、平成5年に開始以来、今回で28回目の開催となり、また、コロナの影響で、4年7ヶ月ぶりの開催となりました。

【意見1・班長】泊江市における岩戸の世帯数世帯人數を考えると、単身世帯が、半分ぐらい。昔は公的機関の細かいサービスがなかった。そのため防犯などは地域の自治会が担っていた。昔の人は24時間、地域で働き暮らした。そして、絆を持たなければ生活ができないなかつた。現代は、地域を離れて働き、地域は寝泊まりするだけに、戻つてくる。その実態から、町会にはいる必要性がなくなるのは当然。それを踏まえ、現状の活

【意見2・理事・班長・役員20名参加】
【意見1・班長】泊江市における岩戸の世帯数世帯人數を考えると、単身世帯が、半分ぐらい。昔は公的機関の細かいサービスがなかった。そのため防犯などは地域の自治会が担っていた。昔の人は24時間、地域で働き暮らした。そして、絆を持たなければ生活ができないなかつた。現代は、地域を離れて働き、地域は寝泊まりするだけに、戻つてくる。その実態から、町会にはいる必要性がなくなるのは当然。それを踏まえ、現状の活

【意見3・理事】掲示板の必要性を感じる。喜多見地域の掲示板は、イベント情報が多く貼られ、町会と直接関係のないものも掲示されている。町会の掲示板は、あまりうまく活用されていないよう

に見える。もつと活用方法、運用方法を考えたら良い。

【意見4・班長】この地域に住み30年。65歳になり、地域活動に参加をしなければと実感している。

仕事の関係で、IT知識があるので、お手伝いできればと思う。

【意見5・班長】班長になり良かったことは、会費集金の際、住

かたの方を知ることが出来た。

回覧板を回した際は会話ができる。意見交換の機会になるので、デジタルだけではなく、両方あるのが良い。

【意見6・班長】班長は輪番制。

近隣とは、コミュニケーションをとり情報交換しているが、全体では、親しい関係はできていない。

ただし、班長の時に、会費集金をの際、それから顔見知りになり、会話、挨拶するようになつた。

【意見7・班長】当班は、班長を輪番制。現状は扱い手の問題はない。回覧板が隣人との顔合わせる機会となつていて、タイミングが合わない事も多く、その際は、ポストに投函するようになつていて、回覧板が本来の意味を持つてない。掲示板は、立止まつて見ている方をよく見かけるので、必

要性が高い。掲示物を貼る作業は、シルバー人材センターに業務委託を検討しても良い。

【意見8・理事】以前の会長の話をしていて、一人住まいの方にあつたら互いに挨拶したり、世間話をしていて、一人住まいの方にかけやすい。回覧板を回す際も、町会理事という立場から声をかけている。

班の状況や、困ったことなど問い合わせている。

【意見9・班長】自治会の活動を知つてもらうには、デジタル化、回覧板も必要だが、興味をもてる



岩戸町会だより

内容のコンテンツ作りが重要。町会未加入のマンションは、同じ地域に住む住人として、町会の活動を知つてもらうことが大事。そのうえで、マンション内に掲示の許可をえて、町会活動を掲示していくべきだと思う。

【意見10・班長】 地域であつた出来事ですが「狛江市の防災から水を配布にきましたと夕方に訪問があつた」おかしいと思い、すぐに警察に通報、警察官が来てくれ調べることになった。「近所で住宅を撮影して不審者がいたので、声をかけると道路を調べていると言つた。でも、家を撮影していたよねと訪ね返した」これも、すぐに警察に連絡した。警察官に、それは泥棒と言われた。家を撮影して地図に記録し、情報を売る商売なのだと。怪しいと思つたら、まづは、110番してください。

【意見11・理事】 班長を輪番制で回している班もあれば、違う班もある。私は、輪番制ではない班について、すでに5年も班長をつづけている。理事は、以前の方が、ただ次の班からスムーズに理事が出てくれるのかが心配。やは

り、担い手不足は課題。

【意見12・班長】 町会のメリットを伝える考えもあるが、町会に加入しないと、どんなデメリットがあるかを考えても良い。災害時などに、町会に入つていないと困るという啓蒙をしていくのが良い。

【意見13・班長】 回覧板の本質はコミュニケーションであつて、内容ではないということがわかつた。地域のコミュニケーション作りという点では、親睦会などがあるので、そこを競うのではなく、町会ができる」とを突き詰めていかなくては。

『午後の部 岩戸南 13時～15時 理事・班長・役員22名参加』

【意見1・理事】 地域の広報を発行して情報を提供し意見の吸収に努めてきたが「町会に入つてもメリットがない」「高齢化で任務ができない」との声があり集団で退会された班が過去にあつた。班長になり手がない問題として「高齢家族の介護」「子育て真最中」、「一家総働き」という理由がある。

【意見2・班長】 駐車場跡地が、分譲住宅になり家が建ち、かなりの軒数が増えた。これは、どのように対応すればよいのでしょうか。

〈解答〉回覧するにも限度があるので、1班あたり10軒ほどが望ましい。区分けする際のルールはとくにくく、その地域、地域で決め

てきている。まずは、班を分ける要望を地域の理事さんにご相談ください。

【意見3・班長】 今回班長になつた契機に、班員と会話する機会があり、あまりの高齢化が進んでいたことに驚いた。また、町会の認知度やメリットを感じていな方が予想以上に多い。地域の結びつきは大事だと思っている。現実問題として、急速な高齢化に、地域住民が社会に対して、どのようにこの変化を考えているか検証しないと、昔の在り方を前提にしても何も得られない。すでに、来年度の退会連絡をもらつてある。区割りを見直す、デジタル化をすすめるのは、待つたなし。

【意見4・理事】 回覧板は手渡しと教わってきたが、高齢化の影響で相手が出るのも大変、時間がかかり待つ方も大変。一方で若い世帯も増えているので、町会の運営の仕方を考えて欲しい。

【意見5・班長】 災害時に助け合うことは共有できるテーマであ

る。参加してためになるようなセミナーをやり、そこで顔見知りになりメリットがあるような場作りをして盛り上げていくと良い。

【意見6・班長】 大きな場所に集まつて防災訓練をするもよいが、そこに向かうことが出来ない災害弱者がいる。そこへのケアを考えると、地域の身近なところで訓練を行うことを考えてほしい。そういうことで地域で誰が、何ができる、助けることができるか、わかつてくる。実験的にでも取り組んで、【意見7・班長】ハザードマップによると、大雨が2日間降るとエリアの半分ぐらいが浸水する地域。近隣には高台がない、あつても収容人數に限りがある。有事への対策を考える必要がある。

【意見8・理事】 私も現役。定年が延長された事から、長く働く方が増え、理事がみつからない。

【意見9・理事】 防犯カメラの設置を町会がやつていると、前回はじめて知つた。要望は各所からあつてもいいが、狛江市が一元管

岩戸町会だより

理するべきだと思います。

【意見10・理事】 狐江市では、町会でニーズがある場所に、防犯カメラの補助金をだすので設置してもらうように予算が確保されているはずです。データは、防犯カメラ内に蓄積される。一定期間が経つと古いものが上書きされる。そこには新しいものが上書きされる。だれかがデータを管理しているわけではない。市や警察の判断でここに設置しようという以外に、町会のニーズで設置している。設置時にメンテナンス込みの契約。

【意見11・班長】 未加入者に勧誘に伺つたが、昼間はあえず、会えた時には、「興味がない」「何のメリットがある」という理由で未加入。町会活動、イベントなどは、町会会員だけではなく、地域の未加入者へQRコードがついたポスターやちらしを配布すれば、未加入者も興味をもつてはいます。

【意見12・班長】 近隣の方と、老人クラブに入り、いろんな所に出てかけ、コミュニケーションをとっている。最近は、回覧もないのに、若い方達と話す機会もない。なにかいいアイデアがないかと思つています。

【意見13・班長】 回覧板によつて、近隣と話す機会でき、若い方に声をかけると加入してくれることもある。声かけによつて興味を持つてもらえる。きっかけがあれば輪が拡がっていくと思う。

【意見14・班長】 会費を払つたが、その後の情報が何もなく、活動しているかわからない。メリットなく続けたくないという方が増えるのが心配。本来情報を持つて立場だが、その情報がなければ動けない、何も発信できない。

【意見15・班長】 慶弔金があることや避難場所のお知らせを作り、班長名で伝えた。常に意識を持つてもらえるような情報発信が重要。

【意見16・班長】 未加入者の勧誘にあたつて説明できるPR資料が欲しい。神社行事、町を愛する行事などとタイアップ出来ないか。

【意見17・理事】 本部役員の時からデジタル化を言い続けてきた。若い方に変わらないとダメなのかとあきらめかけていた。コロナ禍であつてもデジタル化していれば情報発信ができた。災害時の避難場所について、たらい回しにならないように情報発信にデジタル化は不可欠。

防犯カメラ設置

今年度、狐江市の補助金を利用して、防犯カメラを1台新設しました



岩戸町会・第44回多摩川クリーン作戦

りとなりました。

設置に当たつては、地域内の候補をあげ、調布警察署に赴き、相談しながら設置に至りました。

尚、次年度も、1～2台の設置を予定しています。

環境文化部・岩戸写メラリー



令和6年3月24日（日）13時16時に町会主催・環境文化部による新企画「岩戸写メラリー」が開催されました。新しく町会に加入された方や、お子様たちに、岩戸地域をもつと知つてもらいたく企画されました。決められた岩戸地域にある、公共建物や名所旧跡な

岩戸町会だより

どを回って写真撮影してもらうイベントです。当日は、大人の会員の方や、親子づれの方、子供たちだけなど、多くの人に参加をいたしました。



南地区・岩戸せせらぎ公園



北地区・電力中央研究所

町会防災部より

大規模災害首都直下地震、風水害、その時どう動かなければならぬ、落ち着いて火元確認、初期消火、火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の

地震その時10のポイント

- ①地震だ！まずは身の安全
- ②揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動する。
- ③あわてた行動 けがのものと
- ④窓や戸を開け 出口確保
- ⑤門や塀には近寄らない
- ⑥火災や津波 確かな避難
- ⑦正しい情報 確かな行動 ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。
- ⑧確かめ合おう 我が家の安全 隣の安否
- ⑨協力し合って救出・救護
- ⑩避難前に安全確認 電気・ガスを切りガスの元栓を締め避難する。

避難所では、避難所係員の指示に従って行動してください。

自宅避難の場合は余震に気をつけて、確かな情報を判断して、適切な行動をする。日頃から備蓄を確かめる。飲料水3リットル×3日人數分、保存食料(クラッカー缶詰レトルト食品・フリーズドライ食品等)、懐中電灯、携帯ラジオ、救急医療品、常備薬、消毒液、生理用品、ヘルメット、軍手、マスク等。

町会会議室貸出について

コロナ禍で中断していた町会公民館「第一会議室の貸し出しを令和5年5月のゴールデンウイーク明けから再開いたします。貸し出しをご希望の団体は、あらかじめ町会事務所にて、団体登録をしてください。(町会加入のマンション管理組合や町会内部の各部、友好団体等は除きます)。そして、利用の申し込みは町会

ないか日頃から考えておく必要が

始末をする。

- ③あわてた行動 けがのものと
- ④窓や戸を開け 出口確保
- ⑤門や塀には近寄らない
- ⑥火災や津波 確かな避難
- ⑦正しい情報 確かな行動 ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。
- ⑧確かめ合おう 我が家の安全 隣の安否
- ⑨協力し合って救出・救護
- ⑩避難前に安全確認 電気・ガスを切りガスの元栓を締め避難する。

我が家を確認後、近隣の安否を確認する。災害伝言ダイヤル「171」。

*「第2会議室」の貸し出しは引き続き中止いたします。

*現在運用の検討をしています。変更する場合は、あらためて告知します。

慶弔金・出産祝い金の申請

町会には、対象の方が「慶弔金」「出産祝い金」を受け取れる会則があります。最近、この会則を知らない方が増えています。対象の方は、慶弔金5千円、出産祝い金が3千円、支払われます。事由発生から6か月以内に、町会に申請を届くように、各班長・

事務所にて、その都度行つてください。なお、貸し出しには各種条件があります。詳しい内容は、町会50周年記念誌をご確認いただくなか、町会事務所にお問い合わせください。